

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

25年12月10日

大分県知事 殿



提出者

住所、川内市湯布院町原野609-184

氏名 田中正政

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	川内牧場
事業場の所在地	川内市湯布院町原野609-184
計画期間	平成25年4月1日～平成26年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	農業
②事業の規模	牛 90頭
③従業員数	490
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物の斎取 ① 動物の死体 ②



(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（24年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物・廃油	死体
	排 出 量	140 / t	2 t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物・廃油	
	排 出 量	140 / t	1 t
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ <u>24</u> 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	<u>動物の皮膚</u>	<u>動物の骨格</u>
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	<u>1159 t</u>	<u>2 t</u>
(これまでに実施した取組)			
<u>堆肥化</u>			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	<u>動物の皮膚</u>	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	<u>1159 t</u>	<u>2 t</u>
(今後実施する予定の取組)			
<u>堆肥化</u>			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ <u>24</u> 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	<u>動物の皮膚</u>	<u>動物の骨格</u>
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	<u>t</u>	<u>0 t</u>
②計画	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	<u>242 t</u>	<u>0 t</u>
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	<u>動物の皮膚</u>	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	<u>t</u>	<u>t</u>
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	<u>242 t</u>	<u>t</u>
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ <u>24</u> 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ <u>24</u> 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		物の液体
	全処理委託量	t	2 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
・堆肥化工場地散布			
・液体については現業者へ委託			

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			